

電気と環境価値の循環によるゼロカーボンシティの実現

【構成団体 & 参加メンバー】

静岡ガス株式会社・富士山エナジー株式会社・株式会社アマダ

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

- ✓ 市民一人一人が富士宮市のゼロカーボンシティの実現に参画
- ✓ 全ての住宅の屋根に太陽光発電が搭載
- ✓ 電気と環境価値を市内に循環

★その実現のために私たちが取り組んでいること

- ✓ 太陽光発電の第三者保有による自家消費サービス（PPAサービス）を構築
- ✓ 市民の皆様は、**初期費用ゼロ**で太陽光発電設備を設置することが可能で、発電する電力を定額で使用することが可能
- ✓ オプションで蓄電池も設置することが可能で、防災力も向上
- ✓ **地元の事業者から地元の電力を購入**する、まさに地域循環が実現



★これまでの成果や課題★

【成果】

- ✓ サービスモデルを確立
- ✓ 2022年度よりサービス開始

【課題】

- ✓ 市民の皆様へのPR
- ✓ 屋根の形状等の制約にとらわれることなく、全ての屋根に施工可能な技術の確立

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

- ✓ 将来的に、電気料金はどんどん高くなる見通しです。
- ✓ だからこそ、これからは電気は自分でつくってお勧めします。
- ✓ 余った電気は地域に供給し、ゼロカーボンシティに貢献しましょう。

富士宮市地域循環共生圏推進協議会

「すべての宮っ子に川と親しむ体験を！」部会

【構成団体 & 参加メンバー】

世界遺産に相応しい美しい川づくり協議会、芝川観光非出資漁業協同組合、富士宮市女性連絡協議会、コアレックス信栄株式会社、NPO法人ホールアース研究所、富士宮市環境企画課

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

富士山の恵みであり、地域産業の礎となってきた富士宮市の水辺に関する自然と歴史を学ぶ機会をより多くの富士宮市の子どもたち（宮っこ）に提供することで、地域や自分自身に対する誇りを育て、この素晴らしい富士山麓の自然を次世代に引き継ぐ

★その実現のために私たちが取り組んでいること

専門家と連携し、川の生き物や環境と親しむ自然体験プログラムを芝川の上流と下流で実施しました。

【第1回】8月1日（日）「親子生きもの観察会in芝川上流（猪之頭）」開催
参加11組27名

【第2回】10月31日（日）「親子生きもの観察会in芝川下流（長貫）」開催
参加2組4名



またこの他にも川づくりイベントへの参加や協力などを行いました。イベントの開催にあたっては、富士宮市NPO等市民活動推進助成のご支援を頂いています。



★これまでの成果や課題★

【成果】

- * プログラム開発と生物データの収集
- * 専門家との連携、ネットワークの拡大

【課題】

- * プログラム内容の発展
- * 学校等との連携
- * ネットワークの拡大と協賛団体との協働

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

日本一の富士山の麓にある富士宮には、生物多様性に富んだ素晴らしい自然環境が広がっています。この富士宮市の財産を次世代にバトンタッチしていくため、私たちの部会への参加・協力をお待ちしています！

富士宮市地域循環共生圏推進協議会

「畜産バイオマス（略称）」部会

畜産バイオマスを中心とした地域循環システム部会

【構成団体 & 参加メンバー】 合同会社 富士山朝霧Biomass
富士開拓農業協同組合
富士山エナジー

- ★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★
- 地域資源を生かした地域循環共生圏を築く
 - ・ 再生可能エネルギーの創出
 - ・ 有機農業のアシスト

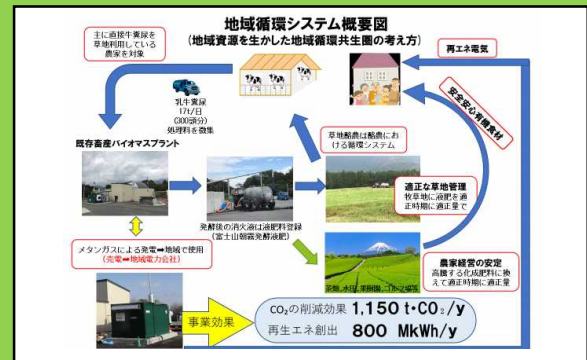
★その実現のために私たちが取り組んでいること

◆プラントの整備と充実

- 貯留槽(1800m³)を増設しました
- 発電機(100 k Wh)を取り替えました

◆液肥の利用促進

- 牧草地用の液肥 (N) と耕種農家用液肥 (S) を肥料登録します。
- みどりの食糧システム戦略事業（農林水産省事業）で茶業農家と実証事業を行います。
- **液肥利用推進協議会**を設立し、液肥の利用促進を図り、有機農業畑を拡大します。



★これまでの成果や課題★ 【成果】

令和4年3月から本格稼働予定

【課題】

- ・ 安定的な原料調達
- ・ // 発電と売電
- ・ 液肥利用の啓蒙と販売
- ・ 熱源の利用

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

液肥利用促進の啓蒙として、家庭菜園やプランターに**試用**していただくように**無料販売所**を設けます。ご利用ください。

「おいしいでつながる地産地消」部会

【構成団体 & 参加メンバー】

(株)アサギリ、イオンリテール(株)イオンスタイル富士宮、マックスバリュ東海(株)、富士宮市生活環境課、清掃センター、食のまち推進室、環境エネルギー室

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

富士宮市は、農畜産物（野菜、お茶、乳製品、肉、卵、にじます、お酒など）のおいしいものがたくさんあり、食によるまちづくりの取組が展開。しかし、ごみの削減、食品廃棄物などについては、具体的な対策や解決に向けた話し合いに至らない状況。食品廃棄物や畜産たい肥など、地域課題が地域循環の軸として、持続可能なまちづくりや、富士山や水の豊かさを守り活かす、環境保全について隣接地域との広域連携によるネットワーク構築。

隣接地域（山梨県南部町）とのリサイクルループの構築のみならず、脱炭素社会構築のため中小企業が主体となったJ-クレジット取引（二酸化炭素排出権取引）についても実現を目指す。

★その実現のために私たちが取り組んでいること

令和2年度 リサイクルループ構築における課題点の抽出

★食と環境の無限ループ（地域循環）

地域食材購入→残渣など堆肥化→堆肥を使用した農業→消費者販売→地域食材購入

令和3年4月 県くらし・環境部環境局 廃棄物リサイクル課 訪問、打ち合せ

令和3年9月 Jクレジット活用の脱炭素社会の構築検討
地域循環共生圏の若干拡大版

令和4年1月 富士宮市議会議員団 (株)アサギリ視察
家畜ふん尿処理の現状把握

令和4年（計画）Jクレジット活用の肥料製造、販売試験実施



★これまでの成果や課題★

循環型社会の無限ループ



【課題】

市民への理解、廃棄物処理法の制限等、施設設置場所、設備コスト

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

おいしいでつながる地産地消部会は、食と環境の無限ループで持続可能な循環型社会を目指しております。持続可能なまちづくりを構築する中で課題となるのは、どの社会活動でも生じる「二次生成物の利活用」だと思われまます。域内循環であれば単なる課題でしかない二次生成物が隣接地域との広域連携を講じることにより「無理のない持続可能なリサイクルループ」の構築が可能となります。

今回の計画は単なる広域連携でのリサイクルループの構築にとどまらず、脱炭素社会構築のためJ-クレジット取引（二酸化炭素排出権取引）についても盛り込んでおります。J-クレジットに関しては、中小企業は難しい内容と捉えがちですが、本スキームを用いることにより、より身近な内容に変革できるものと考えます。SDGs社会実現の為、関連する南部町、富士宮市と行政区分が異なりますが、異なる地域だからこそ、今ある事業や技術の連携により、関わる人すべてに無理のない持続可能な社会づくりが可能と考えております。

富士宮市地域循環共生圏推進協議会

「より地域のためになるエネルギーを選ぶ育てる」部会

【構成団体 & 参加メンバー】 エネルギー事業者：富士山エナジー、静岡ガス 行政：環境企画課 市民団体：消費者連絡協議会、地域女性連絡会、市民環境会議 その他：坂東エネルギー・環境研究所

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

より多くの市民や事業者が、有益な情報知識を得て学び、**地域エネルギーを選んだ**り、その**活動を応援**することにより地域のエネルギー、地域循環経済が発展している。ひいては、地域のエネルギーのあり方を地域が考えていける。

★その実現のために私たちが取り組んでいること

地域エネルギーが地域にとって有用なこと、地域が地域エネルギーのためになることを、見出し、伝え、参加と協力を促す

【各参加者の目標】

行政：市民や事業者が望むことを環境価値として評価

事業者：消費者が望むことや、地域に役立つ事業を創出

市民：知識を広め、実行力を高め、地域に役立つエネルギーを選択したり、それに関連する活動等を応援し育てる。



★これまでの成果や課題★

【成果】

- ・チームのミッションを策定
- ・各立場の活動目標を定めた
- ・・・互いの立ち位置、視点の共有ができた。

【課題】

- ・市民への働きかけを具体的にを行う場
- ・かかわりを持つ人を増やす

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

「エネルギー」はどこから買っても同じもの？遠くからやってくるもの？そうではありません。実は**エネルギーは地域と関わりがあります**。地域の人たちが関わりながら、地域の資源を活用し、地域の課題を解決する、**あなたが望むエネルギーを選んで、富士宮市を元気に**しましょう。

水のまち富士宮 ふれあい大作戦

【構成団体 & 参加メンバー】

富士宮市観光協会、富士宮商工会議所、芝川商工会、富士宮商店街連盟、富士宮市企画戦略課、富士山世界遺産課、観光課、環境エネルギー室

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

「水」のまち富士宮をPRするために、「水」に関するコンテンツを連携させて、あらたな魅力を創設するとともに、持続可能な富士山観光をPRするため、富士山トレッキングガイドによるエコツアー等により、自然と環境にやさしい富士山観光の啓発に取り組んでいきます。

★その実現のために私たちが取り組んでいること

キャンプの聖地として、全国から注目を浴びているふもとっばらの事業への取り組みを学び、駆除した有害鳥獣の有効活用などを通し、命の尊さや無駄をなくすことなどの環境教育の大切さを学びました。今後、富士宮市の大切な財産である「水」を中心とした、富士山からの恵みの保全について、様々なツールを用いて取り組むことにより、持続可能な富士山観光を推進していきます。



E-BIKE



部会：意見交換

★これまでの成果や課題★

【成果】

- ・ふもとっばら竹川社長との座談会実施
- ・富士山トレッキング参加者へのアンケート調査

【課題】

- ・コロナ禍における活動の停滞
- ・地域へのアプローチ
- ・今後の進め方について

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

富士宮市は、富士山から多くの恩恵を受けています。特に「水」は富士宮市の発展に大きく寄与してきました。この「水」をいつまでも大切に、新たな魅力の創設に結びつけることができたらと考えています。

富士宮市地域循環共生圏推進協議会

再生可能エネルギーを軸とした地域活性化プロジェクト

【構成団体 & 参加メンバー】

富士山スマートエナジー、猪之頭区、富士宮市河川課、環境エネルギー室

★ 私たちが目指す富士宮市の姿 ★

私たちは、富士山の眺望と富士宮の恵まれた水資源を活かし、富士宮市猪之頭区内に、芝川の水を利用した水車（小水力発電所）を設置することで、富士山をバックに水車の回る田園風景を観光スポットにすると共に、水車の回転を動力に変える小水力発電を導入し、電力の地産地消化を図る。

★その実現のために私たちが取り組んでいること

* 水車（小水力発電）導入検討

本部会では、富士山をバックにした田園風景の中に、豊かな芝川の水で回る水車の設置を検討中。

水車を観光スポットにすることで、観光に訪れる人の流れを生み出し、特産物や土産ものの販売など、地域振興・交流人口の拡大につなげたい。

その一方で、水車の動力を活用して電力（再生可能エネルギー）を生み出し、その電気を区民館周辺の街灯の電源や、非常時の電力として備蓄できないか構想している。

このような水車の導入に向けて、現在猪之頭区では組織内に専門部会を立ち上げ、富士山スマートエナジーや市の関連部署と協働し、地内のどこに設置するかを検討や、水利権者との打合せ等を行っている。



部会：意見交換会

★これまでの成果や課題★

【成果】

- * 小水力発電所の設置に実績のある団体と地域と自治体のパートナーシップの構築
- * 猪之頭区の組織内に専門部会の立ち上げ
- * 水利権者との打合せ実施

【課題】

- * 具体的な事業計画の作成
- * 小水力発電所設置に高額な資金が必要となるため資金源の確保。

★ 市民の皆様へのメッセージ ★

水車を設置することで、富士山の景観と、富士宮の豊かな水という地域資源を活かし、観光スポットと小水力発電を生み出そうという猪之頭版“二刀流”の取り組みにも、大谷選手へのエールに負けないご声援を！